

「ギラー賞受賞、読む悦びに溢れた歴史冒険小説！」

ワシントン・ブラック

エシ・エデュジャン・著／高見浩 訳



9月25日発売
 定価：本体3,000円＋税
 四六判／450ページ
 ISBN978-4-09-356720-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09356720>

2018年スコシアバンク・ギラー賞受賞、同年マン・ブッカー賞最終候補。NYタイムズ他多数メディアの「トップテン・ブック・オブ・ザ・イヤー」に選出。1830年、東カリブ・バルバドス島。11歳の黒人少年「ワッシュ」ことワシントン・ブラックは大農園に生まれ、奴隷として過酷な日々を生きていたが、ある日やって来た農園主の弟ティッチに見込まれ、科学研究の助手となる。文字や科学の知識を学び、絵の才能も開花させるワッシュ。やがてある事件を機にワッシュは追われる身となり、二人で作った気球で島から脱出し、北極をめざす……。

◆エシ・エデュジャン

カナダ・アルバート州出身のアフリカ系の女性作家。2004年に作家デビューし、2011年『Half-Blood Blues』でギラー賞を受賞。本書でも2018年ギラー賞を受賞。

◆高見浩(たかみ・ひろし)

東京都生まれ。『誰がために鐘は鳴る』『老人と海』『羊たちの沈黙』『ハンニバル』『カリ・モラ』『眺めのいい部屋』など訳書多数。

「神様のカルテ」著者、新たなステージへ！」

始まりの木

夏川草介・著



9月25日発売
 定価：本体1,600円＋税
 四六判／320ページ
 ISBN978-4-09-386591-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386591>

「少しばかり不思議な話を書きました。木と森と、空と大地と、ヒトの心の物語です」——夏川草介
 藤崎千佳は、東京にある国立東大大学の学生である。所属は文学部で、専攻は民俗学。指導教官である古屋神寺郎は、足が悪いことをものともせず日本国中にフィールドワークへ出かける。偏屈で優秀な民俗学者だ。古屋は北から南へ練り歩くフィールドワークを通して、現代日本人の失ったものを藤崎に問いかけてゆく。学問と旅をめぐる、二人の不思議な冒険が始まる。
 藤崎、旅の準備をしまえ。

◆夏川草介(なつかわ・そうすけ)

1978年、大阪府生まれ。信州大学医学部卒業。長野県にて地域医療に従事。2009年『神様のカルテ』で第10回小学館文庫小説賞を受賞しデビュー。同書で'10年本屋大賞第2位、映画化もされた。他の著書に『神様のカルテ2』『神様のカルテ3』『新章 神様のカルテ』『本を守ろうとする猫の話』などがある。

池上彰が解説する最も分かりやすい現代史！」

池上彰のまんがでわかる現代史 欧米

池上彰・著／鍋田吉郎・脚本／松原裕美・まんが



9月28日発売
 定価：本体1,400円＋税
 四六判／208ページ
 ISBN978-4-09-388760-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388760>

「移民でできた国アメリカが、移民を排除するのはなぜ？」「大統領選挙が厳密には直接選挙ではないのはどうして？」「なぜ米軍基地は沖縄に集中しているのか？」「EU加盟国の中でも、独自の立場を維持していたイギリス。なぜEUから離脱したのか？」「ドイツと日本。周辺国との関係が異なるのはなぜ？」
 ベストセラー『池上彰の世界の見方』シリーズの『アメリカ』『イギリスとEU』『ドイツとEU』の内容をいどころ取りして、一冊のまんがに凝縮。受験生や就活生、ビジネスパーソンはもちろん、アメリカ大統領選挙や、「Black Lives Matter」(黒人の命は大切だ)運動などのニュースの背景を知りたい方にも最適です！

◆池上彰(いけがみ・あきら)

1950年生まれ。NHKを経てフリージャーナリストに。東京工業大学などで多くの大学で教鞭も執る。

◆鍋田吉郎(なべた・よしお)

1963年東京都生まれ。銀行勤務などを経て、ライター兼まんが原作者に。「BE-PAL」誌でも執筆中。

◆松原裕美(まつばら・ひろみ)

岐阜県生まれ。2002年まんが家としてデビュー。主な作品に『坂本勇人物語』などがある。



9月30日発売
定価：本体1,600円＋税
四六判／320ページ
ISBN978-4-09-386590-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386590>

ある事件のため、署内で最も無気力になったと言われている、北杉並警察署生活安全課の片山修也巡査部長32歳。その片山に時期はずれの辞令が下った。新たな配属先は聞いたこともない警視庁総務部第八別室。訝しみつつ、早速第八別室へ顔を出した片山が見たのは想像を絶する人物だった。7、8歳の女の子にしか見えない超絶美しい八代ヒメ。あまりの驚愕に自己紹介をし損ねた片山は、早くも警視正という信じがたい階級のヒメに連れ出される。しかも、現場に向かう車両はただのパトカーではなく、超高級スポーツカー。現場に到着した片山はヒメに命じられ、トランクに収納されている楽器ケースを引っ張り出した。その直後、信じられないものを見る――。

◆伊藤尋也(いとう・ひろや)

1974年、岐阜県明智町(現・恵那市)生まれ。本作にて作家デビュー。専門学校講師、市役所の非常勤職員、ゲーム会社のアルバイトなど職を転々としつつ趣味で小説を書き続け、本作を第2回警察小説大賞に応募。選考委員からの高評価により、出版に至る。

大人に代わって、お仕置きよ！
小学生刑事
伊藤尋也・著



10月15日発売
定価：本体2,200円＋税
四六判／352ページ
ISBN978-4-09-386589-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386589>

古く蝮を「くちばみ」と呼んだ。鋭い毒牙を持つその長虫は、親の腹を食い破って生まれるという――。
時は戦国、下剋上の世。母に見捨てられ、父の油売りを手伝いながら、どん底から這い上がった峯丸は、いつしか国盗りの野望を抱くようになる。
狙うは天下の要・美濃国。調略と誑かして政敵を次々に抹殺し、主君の土岐頼芸をも追放する。だが、その頃、息子義龍の胸中には、父への嫉妬と憎悪が渦巻いていた……。
「美濃の蝮」と畏れられた乱世の巨魁・斎藤道三が義龍に命を絶たれるまでの父子の相克を、芥川賞作家・花村萬月が描ききる。
戦国大河小説の最高傑作、ついに誕生!!

◆花村萬月(はなむら・まんげつ)

1955年、東京都生まれ。1989年、『ゴッド・ブレイス物語』で小説すばる新人賞を受賞し、デビュー。'98年、『皆月』で吉川英治文学新人賞、『ゲルマニウムの夜』で芥川賞を受賞。2017年、『日蝕えつる』で柴田錬三郎賞を受賞。『弾正星』『セラフィムの夜』『ワルツ』『信長私記』『秀吉私記』『武蔵』『帝国』など著書多数。

斎藤道三「血で骨を洗う父子の相克」一代記
くちばみ
花村萬月・著



10月15日発売
定価：本体1,500円＋税
四六判／256ページ
ISBN978-4-09-386595-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09386595>

「ジゼル」の事件を乗り越え、新設された東京スベリオール・バレエ団。旗揚げ公演『眠れる森の美女』を、バレエ界の至宝、シルヴィア・ミハイロワが演出することに。しかし、主役のオーロラ姫に決まった客演のユリカ・アサヒナは我が儘で、人間関係に軋みが生じていく。
そして、悪の精、カラボスを名乗る人物から不気味な脅迫状が届き、小道具の糸車の針でダンサーが次々に毒殺されて――!? 再び存続の危機に陥ったバレエ団。カラボスとは何者なのか？ その意図は何なのか？
大反響『ジゼル』の衝撃再び！ 嫉妬と愛憎渦巻くバレエ・ミステリー第二弾!

◆秋吉理香子(あきよし・りかこ)

大阪府在住。早稲田大学第一文学部卒業。2008年、『雪の花』で第三回Yahoo! JAPAN文学賞を受賞。'09年、同作を含む短編集『雪の花』でデビュー。'13年、名門女子高を舞台にしたダークミステリー『暗黒女子』が話題を集める。他の著書に『聖母』『灼熱』『サイレンス』など。

バレエ団を襲う悪の精、カラボスとは何者か？
眠れる美女
秋吉理香子・著

〈笑いながらほろり〉の癒され猫漫画第3巻

俺、つしま 3

おぶうのきょうだい・著



10月22日発売
 定価：本体1,000円＋税
 B6判／192ページ
 ISBN978-4-09-388791-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09388791>

累計36万部突破！ ツイッター発の猫漫画、待望の第3巻がいよいよ登場します。「猫あるある」や抱腹絶倒のエピソードと感涙を誘うストーリーのバランスが絶妙なつしまワールド。そこにはいつも「希望」があります。

3巻は元野良猫のつしま（つーさん）が繰り広げる飼い主「おじいちゃん」との爆笑の日常や、つしまの友達である野良猫軍団「やさぐれ会」のエピソードもたっぷり。

また、コロナ禍が落とした影や1巻で号泣者を続出させたズン姐さんの感動秘話など胸を打つ展開が繰り広げられます。

描き下ろしは60P超、加筆もたっぷりの第3巻。1巻から3巻の名場面を集めた特製シールつき。

◆おぶうのきょうだい

東京都在住の兄妹ユニット。2017年7月から兄が作画、妹が原作を担当し、Twitterで「俺、つしま」(@tsushimacat)をスタート。2018年4月に「俺、つしま」、2019年5月に「俺、つしま 2」を刊行。2020年「サライ」5月号から「月刊つしま」連載開始。

1つ星シェフが家庭用簡単レシピを大公開！

やさしいレシピのおすそわけ #おうちでsio

鳥羽周作・著



9月28日発売
 定価：本体1,300円＋税
 A5変／102ページ
 ISBN978-4-09-310657-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310657>

ステイホームで自炊の機会が増えた方々のために、ミシュラン1つ星シェフ鳥羽周作氏がTwitterで公開した話題のレシピ「#おうちでsio」をまとめた料理本。易しく作れて、優しい味のレシピを紹介。

シール好きによるシール好きのための決定本

大人かわいいシールのハンドブック

シール大臣・著



10月9日発売
 定価：本体1,400円＋税
 A5判／128ページ
 ISBN978-4-09-310663-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310663>

シールの使い方、簡単デコ、収納方法、おすすめシールサイト、100均シールの世界、とっておきコレクション、シールメーカーインタビュー、素材・印刷加工図鑑……など。全2シート、計102枚のシール付き。

こんがらがっこのゆびでたどる絵本第6弾！

こんがらがっこのゆびでたどる絵本第6弾！

なになになんてすすむ？の本

ユーフラテス・著



9月30日発売
 定価：本体1,200円＋税
 菊倍判／48ページ
 ISBN978-4-09-725080-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09725080>

大人気！ こんがらがっこの「ゆびでたどる絵本」第6弾！ 今回はいぐらたちがハロウィンや運動会をたのしむぞ！ 指で道をたどって何度でも楽しめる、本を開くたびに新しい世界が広がる新感覚絵本です。

次の台北旅は、バスで巡ってみませんか？

LADY BIRD 小学館実用シリーズ

ICカード片手に、安く、ラクして、行きたい場所へ！

台北ぐるぐるのバスの旅食べまくり！

コバシイケ子・著



10月14日発売
 定価：本体1,050円＋税
 B5変／112ページ
 ISBN978-4-09-103897-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09103897>

人気の台北プロガーならではの情報力で、大好きな台北をバスで巡ります。バスは、安いしラクだし車窓も楽しい。バスデビューは中心地を走る307系統から。その他主要幹線を使って約150軒食べ歩き、買い物のお店も楽しめます！



10月14日発売
 定価：[本体1,300円] + 税
 A5判 / 96ページ
 ISBN978-4-09-310664-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310664>

日本一の料理動画サイトの大人気レシピ公開
 SNSフォロワー1600万人！ 人気料理動画サイト「Tasty Japan」の大人気レシピが、本になりました。動画でもっともバズった「作って楽しい」「食べても美味しい」、自慢のレシピばかりです！

Tasty Japan Cook Book シリーズ
 テイステイ ジャパン
Tasty Japan
 #バズりごはんBEST50
 Tasty Japan・著



10月14日発売
 定価：[本体1,300円] + 税
 A5判 / 96ページ
 ISBN978-4-09-310661-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310661>

日本一の料理動画サイトの激うまさスイーツ
 SNSフォロワー1600万人！ 人気料理動画サイト「Tasty Japan」の大人気レシピが、本になりました。動画でバズったスイーツと新作スイーツのベスト50レシピを一挙公開！

Tasty Japan Cook Book シリーズ
 テイステイ ジャパン
Tasty Japan
 #バズりスイーツBEST50
 Tasty Japan・著



10月23日発売
 定価：[本体1,200円] + 税
 A5判 / 104ページ
 ISBN978-4-09-310670-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310670>

テレワークでの服装の悩みはこの一冊で解決
 テレワークのためのビジネスコーデインポートBOOK
きちんと楽ちゃん「テレウェア」
 治山正史・著

コロナ後も、働き方の選択肢の一つとして広がりが予想されるテレワーク。そんなテレワーク時に最適な服装を「テレウェア」と名付け、①スイッチウェア②マナーウェア③イージーケア④リラックスの観点から、その実用的コーディネートを紹介する。



10月21日発売
 定価：[本体1,300円] + 税
 B5判 / 96ページ
 ISBN978-4-09-310662-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09310662>

驚くほど大雑把(ザツパ)なおやつレシピが大人気なブロガーのriyusaさん。家やスーパーにある材料で、特別な道具や型がなくてもできる。毎日食べたい普段着のお菓子ザツパレシピ集。

ザツパなおやつ
 限界まで大ざつぱなのに、究極に美味しい！
 riyusa・著

大ざつぱに作ってもおいしいお菓子レシピ



いつだって、僕は本と生きてきた。
[P+D BOOKS] 今月のラインナップ

若い人(下)
 石坂洋次郎・著
 国語教師高崎慎太郎は、同僚・橋本スミ子と、早熟な女生徒江波恵子に翻弄されていた。あるとき、江波が高崎の子を妊娠しているという噂が立ち上り……。青春文学の金字塔にして、石坂洋次郎の出世作 完結編
 定価：[本体650円] + 税 B6判 / 480ページ
 ISBN978-4-09-352401-8
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352401>

変容
 伊藤整・著
 還暦を迎えようとしている画家が、友人の妻や姉、亡くなった妻の親友らと交わる様子を、ときには艶めかしく、ときにはユーモラスに描く。老いらくの性を当たり前のものとして捉え直した傑作長編小説。
 定価：[本体650円] + 税 B6判 / 464ページ
 ISBN978-4-09-352402-5
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09352402>

10月8日発売・配信(ペーパーバックとデジタルで同時、同価格)
<https://pdbooks.jp>

小学館新書

「男女格差後進国」の衝撃
無意識のジェンダー・バイアスを克服する
治部れんげ・著

日本は、男女格差が大きく、人々がそれを実感せず暮らす国である。日本が変わっていない一番大きな原因はここにある、と著者は指摘する。本書で紹介される世界の変化のスピードに、読者は目をみはるに違いない。政府や経済界が女性活躍を最優先課題として本気で取り組めば、わずか3年間で女性リーダーを増やすことが可能だと諸外国の例からわかる。SDGs(持続可能な開発目標)のためにジェンダー平等が必要なことは、世界の常識。日本が変わるために、地域で、企業で、学校で、家庭で、それぞれの立場でできること、を提案する。



10月1日発売
定価: 本体800円 + 税
新書判 / 224ページ
ISBN978-4-09-825380-7

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825380>

◆治部れんげ(じぶれんげ)

1997年、一橋大学法学部卒業。日経BP社にて経済誌記者。2006、2007年、ミシガン大学フルブライト客員研究員。14年よりフリージャーナリスト。18年、一橋大学経営学修士課程修了。現在、昭和女子大学現代ビジネス研究所研究員、東京大学大学院情報学環客員研究員、豊島区男女共同参画推進会議会長、公益財団法人ジョイセフ理事、一般財団法人女性労働協会評議員。著書に「炎上しない企業情報発信。ジェンダーはビジネスの新教養である」(日本経済新聞出版社)、「稼ぐ妻。育てる夫。夫婦の戦略的役割交換(勤草書屋)等。2児の母。

小学館新書

娘のトリセツ
黒川伊保子・編著

父と娘、もしかすると、この世で一番深い「男と女の縁」なのかもしれない(本文より)。「娘の言動が理解不能」「思春期になり、扱い方がわからない」「ウザい、臭いと言われる」など父と娘には万国共通かつ特有のミゾがある。しかし幼少期から成人まで、娘の脳の仕組みを知ることができると、父は娘を幸せにし、娘の一生を守ることができるのだ。娘を持つ父はもちろん、かつては娘だったすべての女性にも読んでほしい一冊。
ベストセラー「家族のトリセツ」シリーズ第3弾!



10月1日発売
定価: 本体820円 + 税
新書判 / 160ページ
ISBN978-4-09-825381-4

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825381>

◆黒川伊保子(くろかわいほこ)

株式会社感性リサーチ代表取締役社長。1959年、長野県生まれ。人工知能研究者、脳科学コメンテーター、感性アナリスト、随筆家、奈良女子大学理学部物理学科卒業。コンピュータでAI開発に携わり、脳と心とはの研究を始める。1991年に全国の原子力発電所で稼働した、世界初と言われる日本語対話型コンピュータを開発。またAI分析の手法を用いて、世界初の語感分析法である「サブミナルインプレッション」演出法を開発し、マーケティングの世界に新境地を開拓した感性分析の第一人者。著書に「妻のトリセツ」「夫のトリセツ」(講談社)など多数。

小学館新書

沈みゆくアメリカ覇権
止まらぬ格差拡大と分断がもたらす政治
中林美恵子・著

新型コロナウイルスを軽視して死亡者を全土に拡大させた上に、白人警官による黒人殺害事件対応でトランプ大統領への逆風が止まらない。米大統領選もバイデン氏が僅差でリードするなど混沌としている。アメリカ国内を見てみると失業者数は高止まりし、格差拡大は高まる一方で、分断も進み、国民の不満は凄まじい。外交面を見れば、米中対立はのっぴきならないところまで来ており、中東問題をはじめとして爆弾を抱えている。かつて超大国と言われたアメリカは中国の覇権主義に歯止めをかけられないのか。



10月1日発売
定価: 本体860円 + 税
新書判 / 288ページ
ISBN978-4-09-825382-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825382>

◆中林美恵子(なかばやし・みえこ)

埼玉県生まれ。大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程修了。米国ワシントン州立大学大学院政治学部修士課程修了。米国在住14年間のうち、永住権を得て1992年に日本人として初めてアメリカ連邦議会・上院予算委員会スタッフ(公務員)として採用され、約10年にわたり米国家予算編成に携わる。2002年に帰国し、教授職、政府審議員、衆議院議員(2009、2012年)などを経て、現在は早稲田大学教授。著書多数。

小学館新書

麻布という不治の病 めんどくさい超進学校 おたとしまさ・著

東京都港区にある麻布中学校・高等学校は「自由な学校」の代名詞として知られる。東大合格者数ランキングトップ10常連でありながら、底抜けに自由な校風という「ギャップ萌え」が魅力の超進学校だ。ただ、それはあくまで表面的イメージにすぎない。本当の「麻布らしさ」とは何か。それを感じ取るため、麻布OBの著者が9人のあまりに個性的な卒業生たちに話を聞いた。そこから「いい学校とは何か?」「いい教育とは何か?」という普遍的な問いに迫る。



10月1日発売
定価: 本体880円 + 税
新書判 / 304ページ
ISBN978-4-09-825383-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825383>

◆おたとしまさ

1973年、東京都生まれ。教育ジャーナリスト。麻布中学校卒業。東京外国語大学英米語学科中退、上智大学英語学科卒業。リクルートから独立後、育児・教育媒体の企画・編集に関わる。教育現場の丹念な取材・執筆に定評があり、メディア出演なども多数。中学・高校の英語の教員免許を持ち、私立小学校教員や心理カウンセラーの経験もある。著書は60冊以上。

小学館新書

虹色チェンジメーカー LGBTQ視点で職場と社会を変える 村木真紀・著

人口の5〜8%といわれるLGBTQ。日本でも近年、LGBTQに関する様々な取り組みが増えていくが、まだまだその理解は十分とはいえない。本書では多くの企業で先進的な施策の推進を支援してきた著者が、職場・社会におけるLGBTQに関する施策の具体的な進め方、ノウハウを徹底解説。有名企業が実践する事例も紹介し、巻末には「LGBTQ基本用語」も収録。人事・労務・法務担当者から就活生まで、ダイバーシティの必読書。



10月1日発売
定価: 本体860円 + 税
新書判 / 256ページ
ISBN978-4-09-825384-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09825384>

◆村木真紀(むらきまき)

1974年、茨城県生まれ。京都大学総合人間学部卒業。認定NPO法人虹色ダイバーシティ代表。社会保険労務士、日系大手製造業、外資系コンサルティング会社を経て現職。LGBTQと職場に関する調査、講演活動を行なっている。大手企業、行政等で講演実績多数。日経WOMAN「ワーマンオブザイヤー」2016「チェンジメーカー」賞受賞。



小学館文庫

一等星の恋

中澤日菜子・著

★二等星の恋：天体観測が趣味の玲史が心を震わせる憧れの彼女。いつも会うのは暗闇の中。顔はわからない。玲史は、二人で交わしたある約束を心待ちにするが……。切なさの中に、ひとさじ恋愛ミステリー要素を加えて。
 ★The Last Light…定年退職後、妻を亡くした老人男性がお見合いパーティーで見つけた人生最後の柔らかな恋の予感。★七夕の旅：戦後75年経ち、孫世代の麻衣子が見つけた、祖父兄弟の真実の愛とは。ほか、笑いあり涙ありの4編も加わった、計7つの物語。キュンとしたり、癒やされたり、ときめいたり、笑ったり。色々な感情を呼び起こしてくれる一冊です。



◆中澤日菜子(なかざわひなこ)
 1966年、東京都生まれ。2013年「お父さんと伊藤さん」でデビュー。同作品は2016年に映画化された。また四作品となるPTAクラブ「はNHK」によりドラマ化。その他の著書に「おまめことこの島」「ユウタウクノコノク」"Team 001"「お願いおひさま」など。近著は「働く女子は明日は来る」。

10月6日発売
 定価：本体710円＋税
 文庫／336ページ
 ISBN978-4-09-406810-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406810>

小学館文庫

ジゼル

秋吉理香子・著

東京グランド・バレエ団の創立十五周年記念公演の演目が「ジゼル」に決定し、如月花音は準主役に抜擢される。このバレエ団では十五年前、ジゼル役のプリマ・姫宮真由美が代役の紅林嶺衣奈を襲った末に死亡する事件が起き、「ジゼル」はタブーになっていた。そんな矢先、夜のスタジオでジゼルの衣装を纏った真由美の亡霊が目撃される。公演の準備を進める中、配役の変更で団員に不協和音が生じ、不可解な事件が相次いで……。これは真由美の呪いなのか？ 花音が辿り着く真由美の死の真相とは？ 嫉妬と愛憎渦巻く華麗なるバレエミステリー、開幕!!



◆秋吉理香子(あきよしりかこ)
 大阪府在住。2008年「雪の花」で第3回Yahoo! JAPAN文学賞を受賞。13年「暗黒女子」が話題を集める。著書に「聖母」「灼熱」「サイレンス」など。

10月6日発売
 定価：本体800円＋税
 文庫／432ページ
 ISBN978-4-09-406822-1

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406822>

小学館文庫

私はあなたの記憶のなかに

角田光代・著

「さがさないで。私はあなたの記憶のなかに消えます」と書き置きして姿を消した妻をさがす旅に出る僕——(表題作)。〈初子さんは扉のような人だった。小学生だった私に、扉の向こうの世界を教えてください〉——「父とガムと彼女」。〈K和田くんは消しゴムのような男の子だった。他人の弱さに共振して自分をすり減らす〉——「猫男」。母にふられた彼と遊んであげることにした——「水曜日の恋人」ほか4篇。愛と記憶、過去と現在が交錯する多彩で技巧をこらした角田光代の魅力が溢れる魅惑の短篇小説集。



◆角田光代(かくたみつよ)
 1967年生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。「空中庭園」(婦人公論文芸賞)、「対岸の彼女」(庫木賞)、「八日目の蝉」(中央公論文芸賞)、「紙の月」(柴田錬三郎賞)「かなたの子」(泉鏡花文学賞)など著書多数。

10月6日発売
 定価：本体700円＋税
 文庫／352ページ
 ISBN978-4-09-406823-8

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406823>

小学館文庫

私はスカーレットⅢ

林真理子・著

戦争は日に日に泥沼化、大好きなパーティーどころか食料も物資も底をつき始め、出征したボーイフレンドは次々と命を落とし、スカーレットはいよいよ戦火が間近に迫ることを実感する。愛する母の待つ故郷タラに帰ろうとするものの、メラニーの出産が迫り身動きが取れず、アトランタに取り残されてしまう。誰の助けも望めなくなつた時、スカーレットは覚悟を決める。誕生から八十年以上を経て今もなお世界中の話題をさらう永遠の名作「風と共に去りぬ」が、マリコ・マジックでポップに鮮やかに甦る！ 恋と戦争をドラマティックに描く第三巻。



◆林真理子(はやしまりこ)
 1954年、山梨県生まれ。82年「ラッセル」を買ったおうちに帰ろう」が大ベストセラーに。86年に「最終便」に間に合えば「京都まで」で直木賞受賞。近著に「愉快にて」(綴る文)など。

10月6日発売
 定価：本体600円＋税
 文庫／192ページ
 ISBN978-4-09-406824-5

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406824>

小学館文庫

とつがわいぶ
十津川警部
殺しはトロッコ列車で
 西村京太郎・著

女優の衣川愛理は、ロケ中の休日を
 楽しもうと、京都・嵯峨野のトロッコ列
 車に乗車した。そこで見知らぬ男から、
 あなたは銃で狙われているから席を替
 わらないかと声を掛けられる。席を替
 わった愛理には、結局何も起きなかつ
 た。その後、東京と西伊豆で女性が銃
 で殺害される。使用された銃は同じで
 あることが判明。三人の女性の共通点
 は、皆二十五歳ということだった。

さらに、千代田区と世田谷区の区役
 所から、五年前の成人式の名簿が盗ま
 れる。十津川は、犯人グループの動機
 には、理不尽な想いがあると推理する。
 全面的な対決となった、驚愕のラスト
 シーンとは！



◆西村京太郎(にしむらきやうたろう)
 1930年、東京都生まれ。78年発
 表の寝台特急殺人事件がベストセ
 ラーとなる。日本推理作家協会賞な
 ど受賞多数。2013年、テレビ
 50周年、十津川警部登場40周年。著
 作は600冊を超える。

10月6日発売
 定価：本体640円＋税
 文庫／272ページ
 ISBN978-4-09-406825-2

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406825>

小学館文庫

ぼしきやうしやう
「ななつ星」九州をゆく
 日本初のクルーズストレーン7年の軌跡
 一志治夫・著

2013年10月15日、日本初のクル
 ーズストレーン「ななつ星in九州」は運行
 を開始した。定員30人、14室すべてが
 スイートという客車5両にラウンジカ
 ーとダイニングカーからなる豪華な列
 車だ。JR九州の唐池恒二社長(当時)
 とデザイナーの水戸岡鋭治をはじめ、
 たずさわった誰もが乗客を感動させる
 手間と細部にまで徹底した情熱を注ぎ
 込んだ末に誕生した。それから7年。
 「新たな人生にめぐり逢う、旅」を演出
 するサービススクルーや乗客との歩みを
 振り返り、九州各地を襲った自然災害
 やコロナ禍による運行休止を乗り越え
 て走り続ける夢の列車を綴る。



◆一志治夫(いっしはるお)
 1960年、長野県生まれ。ノンフ
 イクション作家。「狂気の左サイドパ
 ック」で第1回小学館ノンフィクショ
 ン大賞受賞。主な著書に、「旅する
 江戸前鮎(文藝春秋)」、「幸福な食堂
 車(小学館文庫)など。

10月6日発売
 定価：本体800円＋税
 文庫／328ページ
 ISBN978-4-09-406826-9

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406826>

小学館文庫

さくし
逆説の日本史23
明治揺籃編
琉球処分と廃仏毀釈の謎
 井沢元彦・著

近現代史を歪め日本を蝕む「バカト
 ップ」とは何者か？本書では、「近現
 代史を歪める人々」と題した一章を冒
 頭に特別に設け、日本民族が抱える最
 大の問題の一つである「バカトッブ問
 題」について考察しています。

また、歴史教科書などで詳しく触れ
 られることが少ない「琉球処分」、さら
 に明治政府が行なった「宗教の整備」に
 ついて、全国を吹き荒れた「廃仏毀釈」
 の凄まじさ——あの奈良・興福寺の五
 重塔さえもスクラップにして売り払わ
 れる寸前だった——に焦点を当て、宗
 教史にも造詣が深い著者ならではの独
 自の解釈を盛り込んでいます。



◆井沢元彦(いざわもとひこ)
 作家・BS記者時代に猿丸幻視行
 で第26回江戸川乱歩賞受賞。逆説
 の日本史(週刊ポスト連載中)シリ
 ーズは「ミックス」ビジュアル版を
 含め、累計672万部を突破。

10月6日発売
 定価：本体860円＋税
 文庫／480ページ
 ISBN978-4-09-406827-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406827>

小学館文庫(キャラバン)

さくし
札幌夜パフエ「紅うさぎ」
の裏メニュー
 浅水ハヅキ・著／シラノ・イラスト

北海道札幌市の繁華街から少し入った
 ところに、知る人ぞ知る「パフエバー・紅
 うさぎ」はある。オトナののためのパフエ
 を出す店だ。兄の行方をつきとめるため、
 平牧紅葉はこの店を訪れるが……。ほつ
 こり癒やしの物語！

ねこ
猫に嫁入り
黄泉路横丁の縁結び
 沖田円・著／條・イラスト

迷い込んだ街で見つけた不思議な結婚
 相談所。紹介された隣とお見合いした弥
 琴だが、彼にはなぜか猫耳と尻尾が!!
 隣の正体は齡千年を超える猫又。お互い
 の目的のため、仮の結婚をすることにな
 った弥琴だが…!?

定価：本体640円＋税 304ページ
 ISBN978-4-09-406832-0
<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406832>
 10月6日発売 文庫判

小学館時代小説文庫

若殿八方破れ(二)
 木曾の神隠し
 鈴木英治・著



10月6日発売
 定価：[本体670円]+税
 文庫／336ページ
 ISBN978-4-09-406828-3

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406828>

名門真田家の若さま俊介は、忠臣を殺した仇敵・似鳥幹之丞を追い仲間とともに江戸を出た。中山道に別れを告げ、下街道・釜戸宿へとたどり着く。しかし突如、母の薬を消すため帯回していたおきみが姿を消してしまふ。幹之丞にかどわかされたのか、それとも神隠しに遭ったのか。行方を捜すべく俊介は名古屋へ向かう。そこで柳生新陰流の遣い手・井戸田保之助や同心の稲熊郷蔵の協力をあおぐも、手がかりは掴めなかった。そんな矢先、一行に声をかけてきた男がいた。江戸で俊介の寝込みを襲った弥八だった。仇を求め諸国を巡る痛快時代小説シリーズ白熱の第二弾！

小学館時代小説文庫

たまもかる
 万葉集歌解き譚
 篠綾子・著



10月6日発売
 定価：[本体690円]+税
 文庫／304ページ
 ISBN978-4-09-406829-0

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406829>

しづ子の歌の師匠でもある賀茂真淵の家に泥棒が入った。しづ子と助松それに弟子である加藤千蔭に真淵が打ち明けたのは、『万葉集』を狙ったのである。三日前、將軍家軍の弟である田安宗武にご進講した際、真淵は自分のではない万葉集を持ち帰っていた。そこには、ひらがなだけで書かれた万葉集十二首と、干支と漢数字だけが記された三行の不可解な符牒が残されていた。助松たちが葛木多陽人と謎を解き明かすと、幕府を揺るがす大きな陰謀が明らかになる。謎解きと万葉集が両方楽しめる、好評シリーズ第二弾！

小学館時代小説文庫

付添い屋六平太
 猫又の巻 崇られ女
 金子成人・著



10月6日発売
 定価：[本体630円]+税
 文庫／304ページ
 ISBN978-4-09-406830-6

<https://www.shogakukan.co.jp/books/09406830>

四谷相良道場の高弟でもある秋月六平太は、道場主の相良庄三郎から森掛藩下屋敷にある立身流兵法『練志館』への代稽古を頼まれた。森掛藩邸にはもう一つ一流の道場『興武館』も存在する。これまで親交のなかった両者による初の立ち合いが六平太の面前で行われた。一方、口入れ屋『もみじ庵』に新しい付添い屋、平尾伝八が雇われた。六平太は見習いとして平尾を付添いに同行させるが、根暗な性格は娘達の反感を買ってしまう。そんな中、瑞聖寺裏の田圃から、先の立ち合いで勝利した『練志館』田中祥五郎の惨殺死体が発見された。日本一の王道時代劇最新作！

File

File

File

file

file

File

File

File

File